



木々の緑が色濃くなる季節、皆様いかがお過ごしでしょうか？  
今回は子宮がん検診の必要性についてお話させていただきます。

子宮頸がんは**ワクチンで予防！定期健診で早期発見！**が重要です。

子宮頸がんはがんがある程度進行するまでほとんど症状があらわれません。  
子宮頸がんが見つかった時にはすでに病気が進行しているケースが多いため、  
ワクチンによる予防と、定期検診による早期発見が重要になります。

## 子宮頸がんはどのように発症するの？

原因はヒトパピローマウイルス（HPV）の感染ということが知られていますが、人間の免疫力によって多くの場合、ウイルスは体から排除されます。しかしこの機能がうまく働かずに、ウイルスが子宮頸部に残り、長い間感染が続いた場合にその部分の細胞が数年かけてがん細胞へと進行することがあります。

## 発症するとどうなる？

- 初期の子宮頸がんは  
ほとんどの人が自覚症状がありません
- 進行してからあらわれる症状
  - 生理に関係のない出血がある
  - 茶色のおりものが増える、悪臭を伴う
  - 下腹部や腰が痛む



「子宮頸がん」は子宮の入口部分（頸部）にできるがんでヒトパピローマウイルス（HPV）感染によって起こります。  
20代後半から多くなり、40代以降は横ばい。若い年齢（20～30代）で増えています。

早期発見のために定期検診を受けましょう

## 《HPV ワクチン》

○小学校6年生～  
高校1年生相当  
の女の子を対象として  
定期接種が行なわれています

○予防できる HPV の型

ガーダシル

6型・11型・16型・18型

シルガード9

6型・11型・16型・18型  
31型・33型・45型・52型  
58型

※公費助成があります。

詳細はHPをご覧ください



## 「無痛分娩」 開始のお知らせ 安城院

安城院では無痛分娩でご出産できるようになりました。  
「前回のお産が非常につらかった」「陣痛に強い不安があって・・・」等  
無痛分娩についてお聞きになりたい方はご相談ください。

※豊橋院、小平院でも無痛分娩を行なっています。

